

地域とつながろう！事業所・支部連携の訪問行動

地域とつながろう！事業所・支部連携の訪問行動

横内支部と生協さくら病院職員による地域総訪問行動

生協さくら病院では、昨年に引き続き7月28日・29日の2日間、横内支部への訪問行動を行いました。職員39名と組合員4名の計43名が行動に参加し、22隊に分かれて問屋町・妙見地域の165件のお宅で対話をしました。

横内支部のレクリエーション、生協さくら病院・介護事業所の紹介をすると、快

ながろうチャレンジ」と称して初夏に組合員活動の強化に取り組んできました。協立



横田理事長や金沢支部の成田理事も激励に訪れ、職員の士気も高まります

地域からは「外になつてます」「毎年健診を受けています」「独居老人が多いので地域での集まりがあれば参加したい」などの声をいただきました。

参加した職員

今年度、「初夏のつながろうチャレンジ」として初夏に組合員活動の強化に取り組んできました。協立

企画に呼応し、6月10日より毎週金曜日に大野エリアの全戸訪問を行いました。

エリアにおいてもその企画に呼応し、6月に地域訪問を行うことは必要であると感じた

「前年度に比べ地

域での健診の浸透を感じた」など

の感想がありました。地域訪問によつて得られた要望・意見を今後の課題として改善に取り組みたいと思

う。

10月からは生協強化月間が始まります。

初夏の大野エリア地域行動

事務次長 野村 和志



訪問場所と行動グッズを事前に確認し合う看護長たち

「いのちの章典」ってな～に？

事業所利用委員会

医療福祉生協連は2013年「医療福祉生協のいのちの章典」を決定。いのちの章典には、

①自己決定に関する権利

②自己情報コントロールに関する権利

③安全・安心な医療・介護に関する権利

④アクセスに関する権利

⑤参加と協同

⑥安全・安心な医療・介護に関する権利

があり、これらはともに組合員として生協を担う私たち地域住民と職員が、いのちとくらしを守り健康をはぐくむためにもつ権利と、果たすべき責任です。

私たち、安全・安心な医療・介護と安心な医療・介護の違いについて考え、自分らしい生き方を保証することについて検討します。

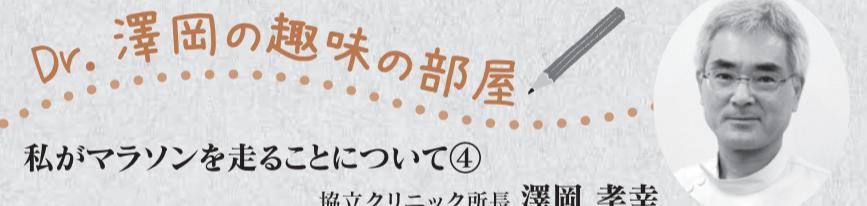
安方クリニックに通院中の患者さんは、高齢の方が多く、当院の他に整形外科・泌尿器科・眼科など複数の診療科を受診していることが多いです。そこで、泌尿器科へ情報提供し、改善しました。この件以降、診察前にお薬手帳を確認し、当院との診療科で薬が重複していないか確認することとしました。患者さんが安心して診察を受けられるよう、これからも取り組んでいきたいと思います。

安全・安心な医療・介護に関する権利

事例：お薬手帳確認でわかつたこと
安方クリニック
看護長 奥崎 大



訪問地域を確認後、2人1組で訪問しました



協立クリニック所長 澤岡 孝幸

◎青森保健生協の病院では、差額室料は頂いておりません。

「還暦を目前にして30kmを超えて走りとおすことは出来ないのでないか」、弱気な心を抱えつつ、4時間切るために足りないは何なのか、本や雑誌等を読んだり弘大スキー部の後輩だが走ることでは師匠と尊敬している中部クリニック医事課の齊藤さんの話を聞いたりして、いくつかの原因と思われる項目とそれを克服するためににはどのような練習が必要なのかを考えた。

そして昨年は8月末の北海道マラソンとアップルマラソンの二つのフルマラソンを目指して練習計画を月単位、週単位で立てた。疲れがたまつてもこひら返りを起こし難い身体を作るために、ケン酸を補充することとし、1日1個梅漬けを食べるようにした。病院を含め登りは階段を使うこととした。

計画通りに練習できさえすれば目標は達成できるだろう。基本的に私は樂觀主義者である。私はどんな天気でも外を走ることが好きなのだが、日の短い冬の間は

滑らないように病院からの帰りにサンドームに寄つて1周300mのコースをぐるぐる走ることも取り入れた。退屈を紛らわせるために生まれて初めてウォーカーなるものも手に入れた。

走る距離に合わせて市内にはいくつものマイコースがある。八甲田山を見通せる川沿い、空氣の澄んだ日には陸奥湾と青森市の中心部の向こうに岩木山が見えるビュースポット等をその日の体調と気分に合わせて選んで走っている。走るペースによって体の受けける感覚も様々である。限界に近い速度で走る時の大半は肉体的には苦しいのだが、ある瞬間に体が軽くなつたように感じることがある。これは脳内にβエンドルフィンが増えることによる現象だと云われているが、それと共に頭の中が再起動され今までになかったアイディアが急に思い浮かぶこともある。

(次号に続く)



催しのお知らせ

創業63周年記念式典

【日 時】9月9日(金)14:00~
 【場 所】フレアージュスウィート(青森市浜田3-1-1)

【プログラム】記念講演

「税が拡げる格差と貧困」(仮)

講師／浦野 広明氏

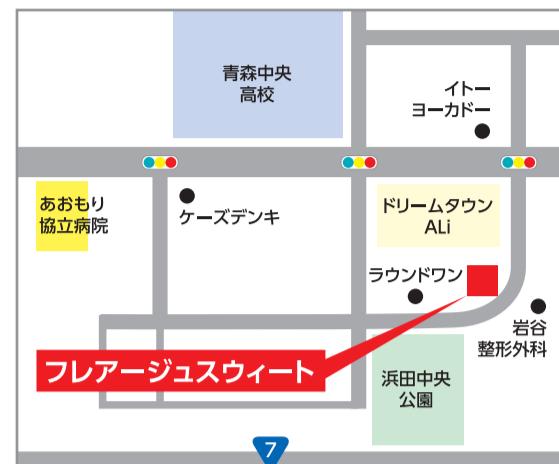
- 講演「わたしたちの歩みとめざすもの」
講師／横田 祐介(青森保健生協 理事長)
- 生協強化月間の呼びかけ・永年勤続表彰

【お問い合わせ】組織部 ☎017(762)5888

[講師紹介]

浦野 広明
(うらのひろあき)

1940年北海道生まれ。中央大学経済学部卒業。立正大学法学部客員教授(税法学)、日本民主法律家協会副理事長、日本租税理論学会理事、税理士。



青森保健生協の各事業所で健康まつりが開催されます

あおもり協立病院・ 協立クリニックまつり

【日 時】10月2日(日)10:00~12:30(予定)
 【場 所】あおもり協立病院・協立クリニック

イベント

●公開講座「認知症について」

- 制服を着て写真撮影
- 看護体験、介護体験、リハビリ体験
- 病院見学ツアー
- 取り組み紹介コーナー
- フリーマーケット
- 各種模擬店



参加協力券
100円
(ワンドリンク付き)

【お問い合わせ】あおもり協立病院 ☎017(762)5500

今後予定されているまつり

●10/15(土)小柳支部 ●10/18(火)生協さくら病院 ●10/26(水)つつみ

●10/15(土)金沢支部すずらん班

参加無料です。
気軽に
お立ち寄り
ください。

中部まつり

【日 時】9月15日(木)13:30~16:00
 【場 所】中部クリニック駐車場

イベント

浦町保育園の園児による踊り

健康体操

よさこい

中央長島支部の皆さんによる踊り



お楽しみ!ゲームコーナー

健康チェックコーナー

新鮮野菜産直販売コーナー

掘り出し物がみつかる!?バザー



大学イモ、ジュースなど屋台コーナー

※天候等により内容が一部変更になる場合がございます

※詳細は来月号に掲載予定

Let's
Cook

おいしくて、栄養いっぱい! とつておきレシピ

あおもり協立病院 管理栄養士 松井 紗季

●今月のレシピ

★鶏団子のふわふわ揚げ★

【材料】(4人分)

- 鶏ひき肉 150g
- れんこん 150g
- 卵 1個
- しょうが (すりおろし) 小さじ1
しょうゆ 大さじ1
酒 小さじ1
みりん 小さじ1
片栗粉 大さじ2
揚げ油 適量



【作り方】

- れんこんと生姜は皮をむいて、すりおろす。
- ボールに①とひき肉、卵、Ⓐの調味料を入れ混ぜ合わせる。
- 大きめのスプーンで②をすくい、熱した油に落とし揚げる。
- きつね色に揚がったら出来上がり。

(一人当たり約145kcal 塩分約0.8g)

One Point

- 混ぜて揚げるだけなので簡単にできます。
- そのままでもおいしいですが、ポン酢をかけるとさっぱり召し上がれます♪

あなたの作品
見せてください!!

てしごとキラリ

作者

中村幸子さん(65歳)
【桜川支部】



母親に教えてもらいながら本を読んで勉強し、自己流で始めたそうですが、すっかりはまってしまったとのこと。やり始めると、時間を忘れて熱中してしまい、肩が凝ることもあるそうですが、無心で過ごせる時間は、貴重な時間でストレス発散にもなるそうです。

(編集部)

江戸時代に

端を発した津軽地方に伝わる刺し子技法「こぎん刺し」。その細かい手仕事に感動しました。できあがった時の達成感はひとしおだそうです。



こぎん刺しを始めた当初に作った1メートル四方もある大作のタペストリー。

あなたのお気に入りの作品や、すてきな趣味をお持ちの方をご紹介ください。
機関紙委員が取材にうかがいます。ご連絡は事務局組織部まで ☎017(762)5888